

募集の概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートいたします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが出向くなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会（最終報告会）で発表、さらに1年間実践した結果を、交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会（最終報告会）で成果を発表していただきます。※入門枠は発表不要

活動報告会（最終報告会）においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞を授与いたします。また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開いたします。

サポート内容	一般枠	●プランの実践にかかる経費の提供／上限 30 万円（査定による） ※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。 ●交流フォーラム（中間報告会）・活動報告会（最終報告会）発表者への交通・宿泊費の支給。（1名分×3回分） ●プランの実現に向けて、実行委員会が認定する防災教育チャレンジプランアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行います。
	入門枠	●プランの実践にかかる経費の提供／上限 5 万円（査定による） ※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。 ●プランの実現に向けて、実行委員会が認定する防災教育チャレンジプランアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行います。
表彰	一般枠	●活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。 ●防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。
	入門枠	●活動プロセス及び成果に対して評価し、優秀な実践活動について表彰いたします。

応募資格

- ・防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）、個人等
- ・採用された場合は、都内にて開催予定の実践団体決定会、中間報告会、最終報告会の計3回の会合に出席できること。（一般枠のみ）

応募部門（プランの対象別）

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部 | E. 高等学校の部 | F. 大学・一般の部 |

応募方法

ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局までE-mailもしくは FAX でご提出下さい。

応募締め切り 2012年12月3日

審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により決定します。審査の結果は、事務局よりメールにて応募団体へご連絡します。（応募締め切り後1ヶ月程度）

- 【審査の観点】
- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
 - ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
 - ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

- 【次年度チャレンジプランの発表】
- ・当年度の活動報告会（最終報告会）の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
E-mail : cpinfo2865@bosai-study.net / FAX : 03-3556-8217

Disaster Management Education Challenge Plan
防災教育チャレンジプランの流れ



2012年度防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧

委員長	
林 春男	京都大学 防災研究所巨大災害研究センター 教授
市川 啓一	株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上 浩一	防災ネットワークプラン 代表
鍵屋 一	板橋区 福祉部長
木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 准教授
国崎 信江	株式会社危機管理教育研究所 代表
栗田 暢之	特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
齊藤 清一	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局長
澤野 次郎	災害救援ボランティア推進委員会 委員長
篠田 貴司	新島村立式根島中学校 教諭
諏訪 清二	兵庫県立舞子高等学校 環境防災科 科長
田村 拓	ＳＣＳＫ株式会社 執行役員
中川 和之	株式会社時事通信社 山形支局長
平田 直	東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授
福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
船木 伸江	神戸学院大学 人文学部 人文学科 准教授
松尾 知純	防災ゲート・パートナーズ 代表
南島 正重	東京都立両国高等学校・附属中学校 主幹教諭
五島 政一	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研究官
鈴木 宏二	文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 防災科学技術推進室長
藤山 秀章	内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）
山口 英樹	消防庁 国民保護・防災部 防災課 課長
四日市 正俊	内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

（2012年10月13日現在、所属役職別50音順、敬称略）

「防災教育チャレンジプランは、(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています」

2013年度 防災教育 チャレンジ プラン募集

Disaster Management Education Challenge Plan

防災教育チャレンジプランとは？

全国の地域や学校で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

特別枠 ジオパーク

変動する大地と向き合う
次世代を育てるために

入門枠 「はじめの一步」

初めて防災教育に取り組まれる
みなさまを支援します！

応募締め切りは、 2012年12月3日(月)

防災教育チャレンジプラン活動報告会

2013年2月9日(土)

会場：有明の丘基幹的広域防災拠点施設(東京・江東区有明) 入場無料

2012年度防災教育チャレンジプラン実践団体による成果発表と、新たに採択された2013年度防災教育チャレンジプラン実践団体による1年間の活動プランの発表を行います。

ご来場の際にはホームページ(<http://www.bosai-study.net>)にて事前登録をお願いします。

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府(防災担当)
後援：消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会

www.bosai-study.net



1年の流れ（イメージ）



※報告会には、報告書（中間/最終）、発表資料（中間/最終）、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。

入門枠（はじめの一步）とは…

3月11日の東日本大震災をきっかけに、防災教育への興味・関心が高まった方、防災教育を実施したくなった方も多くおられると思います。そこで防災教育チャレンジプランでは「これまで防災教育をやったことがなくてよくわからない」「やりたいけれどもいきなり計画案を作って応募することは難しい」という団体に対して、入門枠（はじめの一步）を用意しました。

入門枠（はじめの一步）に採択されると、まずは1年間にわたってチャレンジプランで既に実施された防災教育プログラムを学び・実践しながら、次年度のチャレンジプランに応募するための計画を作成します。計画が採択されると、次年度は一般のチャレンジプラン実践団体として活動を行います。

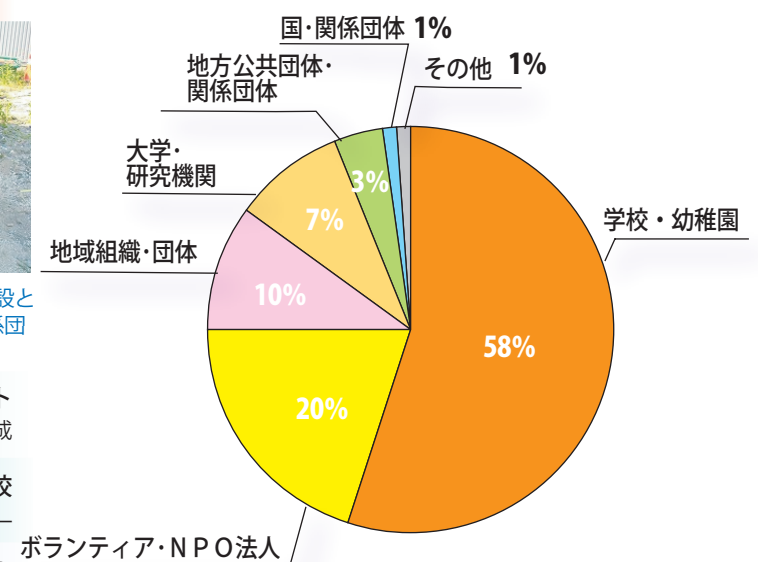
入門枠（はじめの一步）は、一般枠の実践団体応募と比べると、活動費の支援は上限5万円ですが、応募書類などが簡略化されており、やる気があれば「誰でも」「気軽に」応募できるものとなっています。ぜひ、奮ってご応募ください。

過去の受賞団体と活動の様子

復興教育特別大賞	釜石市立釜石東中学校 「EAST-レスキュー」
	南三陸町立歌津中学校 「被災してもたくましく活躍できる歌中生!」
	宮城県大河原町立金ヶ瀬中学校 「学校と地域が協働する防災対策活動プラン」
2011年度については従来の賞とは別に復興教育特別大賞を設定いたしました。この趣旨は、昨年3月11日の東日本大震災で被災しながらも1年間活動を続け、復興に向けて地域に多大な貢献をされました功績を称えるためです。	
防災教育大賞	愛知県立半田商業高等学校 「レスキューハイスクール。育み隊!」
防災教育優秀賞	高津養護学校 たかつ地域ネットワーク推進会議 「2011 たかつ 地域との協働による障がい者・高齢者等要援護者支援のための防災シミュレーション訓練」
	「やさしい日本語」有志の会 「やさしい日本語」から防災教育へ
防災教育特別賞	千葉県立東金特別支援学校 「防災発信・防災交流～北之幸谷から二市四町へ～」
	糸魚川市立根知小学校 「根知小発!ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育」

防災教育大賞	滋賀県立彦根工業高等学校 高齢者と共に活動 ～モノづくり防災活動～
防災教育優秀賞	なでしこ防災ネット 災害時の水の確保「生活と水」秦野盆地湧水群非常時活用マップ作成
防災教育特別賞	釜石市立釜石東中学校 EAST-レスキュー
	西大和6自治会連絡会 災害時要援護者避難訓練&子どもサバイバルキャンプ
	佐用高校農業科学科防災プロジェクトチーム 佐用町は大きな家族! ～豪雨災害を乗り越えて～

これまでの参加者の所属



これまで2003年より163団体が実践団体として参加しました。

～ 特別枠「ジオパーク」のご案内 ～



全国の地域や学校で取り込まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

特別枠

変動する大地と向き合う
次世代を育てるために

ジオパーク：変動する大地と向き合う次世代を育てるために

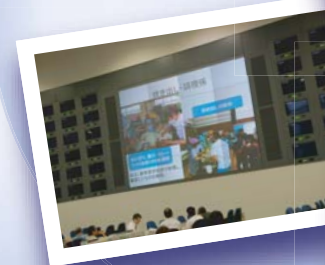
2013年度防災教育チャレンジプランの特別枠として、ジオパークをテーマとした活動を広く募集し、採択された団体への支援等を実施します！

◎ジオパークとは・・・

地球に関わる様々な自然遺産を保護し、研究に活用するとともに、自然と人間との関わりを理解する場所として整備し、科学教育や防災教育の場として、また新たな観光資源として地域の振興に活かす場所とそこでの取組です。

○島原宣言（2012年5月15日）

第5回ジオパーク国際ユネスコ会議で採択された島原宣言では、東日本大震災での被災体験を防災教育の一つの手段として有効活用し、ジオパークにおいて時には自然災害という脅威をもたらす地球について理解を深め、自然と如何に共存するかを学ぶことの必要性、重要性が唱えられました。



2013年度活動スケジュール（予定）



募集概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートいたします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが向うなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会（最終報告会）で発表、さらに1年間実践した結果を、交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会（最終報告会）で成果を発表していただきます。

活動報告会（最終報告会）においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞を授与いたします。また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開いたします。

サポート内容

- プランの実践にかかる経費の提供
特別枠／上限 30 万円（査定による）
- アドバイザーによる助言・指導等

応募資格

- 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）、個人等
- 採用された場合は、実践団体決定会、中間報告会、最終報告会に出席できること。
- 国内でジオパーク活動をしている場所で行われる実践活動であること。（対象地域などは、日本ジオパークネットワークWEBサイト<<http://www.geopark.jp/>>などを参考にしてください。問い合わせは事務局まで。）

2012年度 防災教育チャレンジプラン実行委員会委員一覧

委員長	
林 春男	京都大学 防災研究所巨大災害研究センター 教授
市川 啓一	株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上 浩一	防災ネットワークプラン 代表
鍵屋 一	板橋区 福祉部長
木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 准教授
国崎 信江	株式会社危機管理教育研究所 代表
栗田 暢之	特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
齊藤 清一	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局長
澤野 次郎	災害救援ボランティア推進委員会 委員長
篠田 貴司	新島村立式根島中学校 教諭
諏訪 清二	兵庫県立舞子高等学校 環境防災科 科長
田村 拓	SCSK株式会社 執行役員
中川 和之	株式会社時事通信社 山形支局長
平田 直	東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授
福和 伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
船木 伸江	神戸学院大学 人文学部 人文学科 准教授
松尾 知純	防災ゲート・パートナーズ 代表
南島 正重	東京都立両国高等学校・附属中学校 主幹教諭
五島 政一	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研究官
鈴木 宏二	文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 防災科学技術推進室長
藤山 秀章	内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）
山口 英樹	消防庁 国民保護・防災部 防災課 課長
四日市 正俊	内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

（2012年10月13日現在、所属役職別50音順、敬称略）

www.bosai-study.net